

インターナショナルスクール誘致に向けた候補地の選定

1 要旨

静岡市にインターナショナルスクールが開設されることで、静岡市内外の子どもたちにとっての学びの選択肢を広げる教育的側面や、高度外国人材の子どもに対する教育環境が整い、それら人材の確保に寄与する経済的側面などのメリットが期待されます。

そこで静岡市では、2024年5月、事業者によるインターナショナルスクールの開設を支援するため、静岡商工会議所と連携し、相談窓口を設置しました。

その窓口にて、2024年9月、ある事業者から、市内でのインターナショナルスクール開設の提案がありました。具体的には、インターナショナルスクールの開設意向の表明と、静岡県が所有する「果樹研究センター跡地（清水区駒越西）」（以下「果樹研跡地」）を最適用地とし、その確保に向けた支援の要請です。

提案の内容を検討した結果、市としても果樹研跡地はインターナショナルスクールの適地であると判断しました。

今後、市は、土地の確保に向け土地の所有者である静岡県との協議を開始します。

なお、果樹研跡地については、以前より地元自治会から防災機能を備えた場所となるよう要望をいただいていた。インターナショナルスクールの開設及び跡地活用にあたっては、地域の防災機能の確保にも活用できるよう、関係者と調整を進めます。

【これまでの経緯】

2023年 11月	・静岡商工会議所から市へ「雇用の多国籍化・高度外国人材登用に係るインターナショナルスクール誘致に関する要望」の提出
2024年 3月	・市と静岡商工会議所による「静岡市インターナショナルスクール誘致推進協議会」を開催。インターナショナルスクール誘致の考え方を整理
4月	・市は、誘致に向けたサウンディング型市場調査を実施。複数の民間企業がインターナショナルスクールの開設に関心をもつことを確認
5月	・市と商工会議所にインターナショナルスクールの実現可能性を確認するため、関心を持つ企業からの相談や支援要請を受け付ける「支援チーム」を設置
9月	・関心を持つ民間事業者から市へ、インターナショナルスクール開設の「意向表明書」提出。県所有の果樹研跡地を最適用地とし、その確保に向けた市の支援を要請
2025年 4月	・市は、果樹研跡地がインターナショナルスクールの適地であると判断

次頁あり

2 想定されるインターナショナルスクールの概要

果樹研究跡地が位置する清水区は、海洋分野の研究開発や次世代産業の発展が見込まれており、インターナショナルスクールが開設されることは、高度外国人材を惹きつける要素の一つとなります。

果樹研跡地の広大な敷地と、富士山と駿河湾の景観、豊かな自然を生かし、市内・県内のみならず、県外・海外からの入学を誘引する世界最高水準の国際教育を提供するインターナショナルスクールの開校を想定しています。

インターナショナルスクールの開校時期は、事業者の判断となりますが、現段階では2028年9月の開校を想定しています。

【候補地(果樹研跡地)の概要】(静岡県公表資料より)

所在地：静岡市清水区駒越西2丁目12番10号

登記面積：約67,957㎡



全景写真 ©Google



対象地位置図 ©Google

3 今後のスケジュール

関係事業者や地元自治会などと協議を行い、今年度中に果樹研跡地を取得できるよう静岡県との協議を進めます。

担当：総合政策局 企画課(054-221-1612)